



# 21

筑波大学附属病院 古河・坂東地域医療教育センター

# 茨城西南医療センター病院

## 病院の概要

- 開設 | 1946年3月
- 開設者 | 茨城県厚生農業協同組合連合会
- 院長名 | 上杉 雅文
- 病床数 | 358床
- 標榜科 (28科) | 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、リウマチ・膠原病内科、神経内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、小児科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、病理診断科
- 医師数 | 74人 (研修医除く)
- 指導医数 | 27人
- 研修医数 | 16人
- 研修医の主な出身大学 | 筑波大学、東北大学、山形大学、長崎大学、国際医療福祉大学、東邦大学、杏林大学 他
- 外来患者数 | 775人/日
- 入院患者数 | 275人/日
- 時間外・休日労働時間 | A水準、B水準 (2025年4月現在)
- 上限の適用水準 | ※臨床研修医はA水準 (年間960時間上限) となります



## 応募・問合せ先

筑波大学附属病院 古河・坂東地域医療教育センター  
茨城西南医療センター病院

〒306-0433 茨城県猿島郡境町2190  
担当者: 秘書室 長谷川・間瀬、庶務課 所  
TEL: 0280-87-8111 (内線2421)  
FAX: 0280-86-7702  
E-mail: shomuka@seinan-mch.or.jp  
URL: https://www.seinan-mch.or.jp



- JR宇都宮線の場合  
古河駅西口より境車庫行きバス [西南医療センター病院入口] 下車、徒歩3分
- 東武伊勢崎線の場合  
東武動物公園駅より境車庫行きバス [西南医療センター病院入口] 下車、徒歩3分
- 圏央道 境古河 ICより約5分

## 女性医師支援

- ・院内保育所の設置 (0歳児から小学校就学前の児童対象) (毎週月・木は24時間保育)
- ・病児保育シッター補助 (生後3ヶ月から小学生までの児童対象)
- ・妊娠中、育児中の当直勤務免除
- ・育児短時間勤務可能



保育所

## 病院見学対応状況

- 見学時間…随時 (平日)
- 対象…全学年
- 宿泊…可能 (無料)  
研修医の宿舎に宿泊可能 (要確認)
- 問い合わせ先  
担当者: 秘書室 長谷川・間瀬  
TEL: 0280-87-8111 (内線2423)  
E-mail: kensyu-hisho@seinan-mch.or.jp

## 研修プログラムの特色

全ての科目において、幅広い医学、臨床の基本的知識、技能、姿勢を習得可能です。なかでも救命救急センターは三次救急のほか、一次、二次救急も対象としているため、早期よりプライマリ・ケアの基本的診療が可能です。更に第一線の中核病院として、地域医療を支えている小児科や産婦人科でのアクティブな研修も可能です。

筑波大学附属病院、水戸協同病院を協力型臨床研修病院としており同院での研修も可能なほか、当院、JAとりで総合医療センター、友愛記念病院、霞ヶ浦医療センターの4病院で「いばらき夢チャレンジ臨床研修病院群プロジェクト」を構成しており、各病院の得意分野を生かしながら相互に研修を受けられる教育プログラムを構築しています。

## 研修スケジュール例

1年次	内科 (24週)				外科 (8週)	救急 (12週)	自由選択 (8週)
2年次	小児科 (8週)	産婦人科 (8週)	精神科 (4週)	地域医療 (4週)	自由選択 (28週)		

院内もしくは院外において研修することができます。  
筑波大学附属病院、水戸協同病院の他に「いばらき夢チャレンジ臨床研修病院群プロジェクト」に参加する下記の病院での研修が可能です。  
【参加病院】●JAとりで総合医療センター (取手市) ●友愛記念病院 (古河市) ●霞ヶ浦医療センター (土浦市) ●茨城西南医療センター病院 (当院)  
地域医療: 茨城西南医療センター病院附属八千代診療所、精神科: ホスピタル坂東

## 研修・認定施設一覧

- ・日本内科学会教育関連病院
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本透析医学会教育関連施設
- ・日本外科学会認定医制度修練施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本呼吸器外科学会指導医制度関連施設
- ・日本呼吸器外科学会関連施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本脳神経外科学会専門医制度訓練施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本臨床細胞学会施設認定制度認定施設
- ・日本脳卒中学会研修教育病院認定施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設
- ・日本心血管インターベンション学会認定研修関連施設
- ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構関連施設
- ・日本胸部外科学会関連施設
- ・日本整形外科学会専門医研修施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修認定施設
- ・日本産婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
- ・日本周産期・新生児医学会専門医制度研修施設 (補完施設)
- ・日本小児科学会小児科専門医制度専門医研修施設
- ・日本乳癌学会関連施設
- ・日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
- ・日本がん治療認定機構認定研修施設 ほか

## 病院からメッセージ



研修責任者  
リハビリテーション科科長  
上野 友之

当院は救命救急センター (年間受診者数約14,000人、年間救急車搬送数約4,000件) を擁し、1次から3次救急まで多数かつ多様な症例を診療しています。第一線の地域中核病院として、各科が連携協力して、専門性の高い医療を提供し、医師不足の地域にあって最後の砦として地域医療を支えています。  
臨床研修の2年間は、最前線に立って積極的に幅広い症例と出会い、責任をもって考え、好奇心をもって知識と技術を会得していくことが重要です。当院には一つのチームとして上級医、コメディカルスタッフが支え、臨床研修医の仲間で励まし合い、切磋琢磨する環境があります。みなさんのステップアップが地域医療のレベルアップにつながっていきます。それぞれの最高の成長曲線が描けるよう、全力で支援します。



研修医  
濱田 友貴

当院は地域を支える中核病院であり、救急医療や高度医療、高齢者医療など幅広く担っています。多様な患者さんに対して主体的に診療に携わることができます。教育体制も充実しており、指導医からの丁寧なフィードバックによって、着実に成長を感じられます。興味のある疾患や手技・手術があれば、研修中の診療科に関わらず経験を積むこともできます。指導医の先生方からの熱い指導と頼もしい先輩方からの的確な助言を受けながら、同期でも経験した症例を報告しあい、切磋琢磨しています。コメディカルの方々と距離が近く相談しやすいため、伸び伸びと研修することができます。自分の頭と手をしっかり動かしながら患者さんと向き合う当院の環境は、医師としての初めの一步を踏み出す研修の場として最適だと思います。